

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- 地域共生社会をめざして……………1P
- ・ちた未来塾2019 活動報告
- ・知多地域地域福祉計画策定・進行管理研修
- 20周年記念 役員メッセージ…………… 2P,3P
- ・フードバンク活動の契約主体変更の説明会
- インフォメーション…………… 4P
- ・いきがい・助け合いサミットin 大阪

地域共生社会をめざして

■知多地域 地域福祉計画策定・進行管理研修

日本福祉大学教員を中心に研究体制を組むニッセイ財団特別委託研究事業13プロジェクトが現在進行中です。その一つ、原田正樹先生（地域ケア研究推進センター長兼副学長）の下、9月26日「地域福祉計画策定・進行管理研修」が同大東海キャンパスにて行われました。



地域福祉計画を担当する4市5町の行政・社協職員29人が一堂に会した

新・地域福祉計画と包括的支援体制について原田先生より、地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進についての講義がありました。ポイント数点ある中、生活機能分類の考え方が法律に位置付けられたことで従前の保健医療福祉の連携に加えて住まい、就労、大人の生涯学習も含む教育まで広げられたことがとても印象的でした。

次いで参加者より各市町の計画の進捗報告がなされ、地域福祉計画の全国モデルである氷見市の取組みについて森脇俊二氏（富山県氷見市社会福祉協議会 事務局次長）よりご報告いただきました。これを踏まえて地域福祉計画策定と包括的支援体制における課題だしを行った結果、両者との整合性におけるジレンマもあり、協働を進める多職種研修にもつながることが提示されていました。次回は、これら課題を解決へとつながるプログラムが予定されています。

■フードバンク活動の契約主体変更の説明会

知多市市民活動センターにて9月12日、知多地域におけるフードバンク活動の契約主体変更の説明会が行われました。

知多地域では、2013年よりセカンドハーベスト名古屋



本活動の地産地消を呼びかける常滑市社協山下氏

（以下、2HN）のパートナー団体として、食品の引き取りや仕分けは常滑市社会福祉協議会（以下、常滑市社協）、当法人が調整を担う三者協働でフードバンク活動を進めてきました。2018年度は12社より35トン、市場価格にして2,100万円相当の寄付を43の福祉団体へ提供いただきました。

現状に合わせた活動の見直しを行い、10月1日より2HNから常滑市社協へ契約の主体を移し、本活動が今後も継続できるよう年会費制になりました。また、登録団体で余っている食品は、常滑市社協を通じて他団体へ提供することで更にフードバンクの地産地消が可能となります、ぜひご協力ください。

■いきがい・助け合いサミットin大阪

NPOリーダー研修として呼びかけたさわやか福祉財団主催の大阪サミットに9人が参加しました。9月9日、10日の両日にわたり、共生社会をつくる地域包括ケア～生活を支え合う仕組みと実践～をテーマに生活体制整備事業、とりわけ生活支援コーディネーターや協議体の動きについて具体的に考える54の分科会が開催されました。この学びを「学びあい育ちあい」へと発展するよう、11月8日にさやわかインストラクターのお二人を迎えて意見交換会を開催します。（申し込みは同封のチラシをご利用ください）

■ちた未来塾2019 活動報告

知多市の次世代育成事業として6月にスタートした今年度は11人が入塾、現在はサポーターとともに地域実践をチャレンジしています。時間のない高校生、社会人の若者たちが、グループLINEでの情報共有の限界から、顔を合わせた対話の大切さを感じ始めています。今後の予定は、朝倉センタープレイスにて11月4日午後イベントを行います。また、同月9日に卒塾式兼報告会を開催します。ご参加ください。（申し込みは同封のチラシをご利用ください） 市野 恵

■20周年記念 役員メッセージ

前号と今号の2回にわたり、設立20周年を記念して、当法人役員祝賀メッセージを掲載させていただきます。(順不同)

「自分だけが、自分の子どもだけが、自分の家族だけが、自分の仲間だけが幸せな社会などありえない！」

サポートちたの20年はまさにこの実践であったかと思います。右も左もわからぬまま勢いだけで立ち上げた団体を「みんながいるから大丈夫だよ」とつないでいただきました。

気が付けば「自分の団体だけが幸せな知多地域などありえない！」という強いつながりになりました。

さて、これからは私たちが一丸となって、幸せをどれだけ広げていけるかにかかっています。市民の底力が試されるチャンス到来！と捉え前向きに進んでいきましょう。

サポートちたはその号令を発し続けて下さい。

理事 出口 晋 (N) ゆめじろう 理事長

法人設立20周年、おめでとうございます。

「サポートちた」と私が勤める日本福祉大学は2016年に「包括連携に関する協定書」を締結し、様々な連携事業に取り組んでいます。中でも本学のサービスマーケティング（社会活動を通して市民性を育む学習）においては、「サポートちた」のご協力のもと、会員NPO法人の皆様に、これまで多くの学生を受け入れて頂きました。年々、社会経験が乏しい学生が増え、受入のご苦労が多い中「次世代育成の順送り」と前向きにご対応いただき、心から感謝しております。

また、これまで中間支援組織の草分け的存在として、常に先陣を切って後につながる取組みに着手してこられたことに敬意を表します。少子高齢化が加速する中、様々な地域課題の解決に向けて、これからも新たな道を切り開いていってください。期待しています。

理事 岡崎 佳子 日本福祉大学企画政策課主幹

法人設立20周年、おめでとうございます。

私が役員として参加させて頂くことになったのは、あかりの代表になった年でした。NPO法人の活動や「サポートちた」の事業に関してまだ何もわからない駆け出しの頃、色々な活動を始めた知多半島の各法人を巡るバスツアーや、福祉の担い手を養成する資格取得のための講座に参加して、人や団体の個性を認めて活かすことで居場所が生まれることを知りました。

今では「困ったときはお互いさま」は当たり前のこととして私の中に存在しています。そしてNPOの活動を通して得られた、思いを共有する大切な仲間は「宝物」になりました。

これからも、この「宝物」を色々な形で生み出す活動を継続していただけることを期待しています。

理事 西村 広美 (N) あかり 代表理事

サポートちたというと「そだちあう」風景が目には浮かびます。研修、バスツアー、いろんな立場の人が集う円卓会議……。一人の疑問や情報に終わらせず、あつという間にみんなの学びの場ができあがっていく場面を何度も目にし、そして、参加させていただいてきました。社会がめまぐるしく変化し、各人の生きづらさや幸せに向き合う試行錯誤の中、「こんなことに困っている」「うちもだよ」と声を出すことができ、現場の気づきをみんなの知恵にとどンドン伝えていく場があることがどんなに心強いことか……。

これからも、私たちの、そして新しく芽を出していく人たちの大切な土壌として、社会に必要な活動を生み育む力となってくださることを切に願いつつ、中間支援の仲間として手を携えて取り組んでいけたらと思っています。これまでの感謝と未来へのエールをこめて……

20周年、おめでとうございます！

理事 三島 知斗世 (N) ボランティアネイバーズ 副理事長

20周年、誠にありがとうございます。

サポートちたの前身「ちたネット」は、知多半島で次々に立ち上がった住民参加型在宅福祉サービス団体のリーダーたちが集まって設立されました。まだ介護保険が施行される前のことでした。

地域の課題に向き合える人材を育てようとヘルパー講習を行い、各々の団体の基礎を築きました。また緩やかにつながりながら、情報交換をし、わからないことがあると一緒に考え、学び合い、楽しみながら、いつも熱く語り合っていたような気がします。まだ30代だった私は、どれだけ刺激を受け、育てていただけたかしれません。それが今の絆につながり、サポートちたの発展の基礎になっていると思うと、とても感慨深いものがあります。

今ではサポートちたの仲間も増え、事業も大きくなりましたが、出会った皆さんと緩やかにつながり、共に成長できる関係を、これからも大切にしていきたいと願っています。

理事 山崎 紀恵子 (認N) 絆 代表理事

かつて行政から見た「サポちた」の魅力は、
①市民を市民が育てる「中間支援」を担うこと。
②市民活動をネットワークしていくこと。
でした。

①については様々なスタイルの市民活動が産声を上げ始めていた知多半島において、市民が市民を育てるというコンセプトは当時、意欲的でドラスティックな発想でした。「協働」の名のもとに行政が主導する活動支援とは一線を隔し、市民が主導する中間支援は、広い裾野と低い垣根を特徴とし、市民活動の先駆けとなる事例を多く世に示してきました。

②については様々なNPOが手探りであったころ。それぞれの役割と立ち位置を評価し、確認しあう場を担い、また、多くの学びの場を提供し、NPO活動の先進的な知多半島といわれる素地を形成する重要な役割を担ってきました。また、「サポちた」において特質すべきは、地縁組織とのつながりを重んじ、地域における取り組みに少なからず影響を与えていったことです。知多市のコミュニティの振興にも多大な貢献がありました。

市民活動の様々な変化に柔軟に対応し、時代に沿った存在価値を試行錯誤し、理想のシナリオを追い求めてきた20年。市民が主導する街づくりは、まさに関係者の方々の熱いところざしがあればこそたどり着いた成果だと思えます。

さらにこれからは、過去にとらわれることなく、なお一層、高いアンテナで果たすべき役割を追い求め、柔軟な発想で市民活動をけん引していってほしいと願っています。

監事 浅田 文彦

設立20周年おめでとうございます。

サポートちたは、中間支援団体として、他のNPO法人とのつながりや行政、他機関との協働や日本福祉大学との連携などの橋渡しとして、なくてはならない団体です。

法人としての組織運営など自分たちでは不十分などころを支援してもらってきました。

今後、地域共生社会にむけてさらなる地域の力が必要になってきています。どこの地域もどのように地域づくりをしていくのか模索している中、サポートちたのネットワークや調査、研究、情報などを吸収しNPO法人として地域課題を解決していくことはもちろんですが、社会的価値の創造力を活かしたまちづくりのためいっしょに活動していきたいと思えます。

理事 渡邊 千恵 (N)りんりん 理事長

法人設立20周年おめでとうございます。

私が18歳の夏、ヘルパー2級養成講座を日本福祉大学で受講させていただきました。あれからもう17年も経つのですね。その後、地域の古民家を再生する企業セミナーに参加させていただき、そこからだいこんの花は誕生しました。その後も法人としても個人としても様々な形でお世話になっています。

サポートちたとの関わりがあったからこそ「福祉人」の私があると思います。今年度から理事として携わせていただくことになりました。まさか自分がサポートちたの理事になるとは夢にも思っていませんでしたが、今まで自分を育てていただいた恩をしっかりとお返しできる様に全力で取り組ませていただきます。

今後も高齢者、障がい者、子どもたち、地域の方々全員が自分らしく安心して生活出来る地域づくりに向けて、人事育成や行政との連携等、様々なご活躍を期待しております。私もその一員として微力ながらお手伝いさせて頂けることを誇りに思います。

理事 荒木 麻貴臣 (N)だいこんの花 旭南事業所 管理者

サポートちた20周年おめでとうございます。

私が、サポちたに所属していたのは、17年程前から5年間だったように記憶しています。働いたことがない私が初めて外にでて働いたところが、NPOの中間支援であるサポちたでした。

その後、サポちたが生み出した知多地域成年後見センターで12年目を迎えています。全国をうろうろして感じることは、困ったときはお互い様の助け合いが、何気なくできている地域は中々ないと言うことです。

この地域は、サポちたの活動が、助け合いのできる地域づくりを行ってきたのだと感じています。今こそ、この活動がますます必要となってきました。必要とされる限り続けて行って欲しいと思っています。

理事 今井 友乃 (N)知多地域成年後見センター 事務局長

法人設立20周年記念事業ご案内

日時 2019年12月15日(日) 13:00~17:00
会場 知多市勤労文化会館 やまももホール

講演会 「幸せのメカニズム～幸福学入門～」
前野隆司氏 (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■半田市子育て支援拠点事業施設内でのプチ起業の募集

半田市の補助を受けて市内にて子育て支援施設を新規オープンします。施設の目的は小さなお子さんを育てているお母さんお父さん、そしてお子さんにくつろいでいただく場所の提供で、イメージとしては児童館のような施設になります。施設内にはキッチン併設の食事ができるスペースを設けます。

このスペースを利用して食事を提供(プチ起業)したい方を募集します。普段、趣味などでお菓子作りや海外の料理を作られている方で“お店をやってみたくて自分でやるのはちょっと…”といった方、ぜひご相談ください。詳しい内容については面接にて話し合いを致します。まずはお気軽にご連絡ください。

〈時間〉平日5日間、10～15時までの間(要相談)
〈場所〉半田市亀崎大洞町3-28(現在、建設中)
〈問合せ〉(N)プレマクラブ 担当 石川 敬史(ユキハル)
☎090-6358-6649 2020年2月オープン予定

■介護職員初任者研修・行動援護研修の募集

第13回 介護職員初任者研修

- * 10月25日(金)開講式
- * 10月31日(火)～12月19日(木)15日間
- * 12月20日(金)～25日(水)一日施設実習
- * 12月26日(木)修了式
- * 受講料 50,000円(税別)テキスト 4,000円(税別)

第22回 行動援護研修

- * 11月16日(土)開講式
- * 11月16日(土)24日(日)12月1日(日)7日(土)4日間
- * 12月7日(土)修了式
- * 受講料 27,000円(税別)

〈場所〉(N)ネットワーク大府 研修室
〈問合せ〉(N)ネットワーク大府 大府市森岡町1-30
研修担当 豊田 ☎0562-44-3735

■ゆいの会 陶芸・パッチワーク・絵てがみ展

作品の展示、即売を行います。喫茶(有料)あります。
〈日時〉10月17日(木)～19日(土)10～16時※19日は12時まで
〈場所〉(N)ゆいの会 ☎0562-32-5906

■ゆいの会 さをり織展

作品の展示、即売を行います。
〈日時〉11月29日(金)～12月1日(日)10時～16時
〈場所〉(N)ゆいの会 ☎0562-32-5906

■知多半島ろうスクール2019 in 美浜

〈日程〉10月10日～11月21日 毎週木曜日 全7回
〈時間〉13:00～16:30 ※10月31日のみ9:30スタート
〈会場〉美浜町生涯学習センター
〈住所〉知多郡美浜町北方十二谷125
〈内容〉人生のさいごまで、後悔しないで笑顔で暮らすための自分らしい生き方・老い方(老)と、生活を守るための制度や法律(Law)を学ぶ学校です。
〈参加費〉入学金2,000円 各回1,000円
〈申込/問合せ〉(N)知多地域成年後見センター
☎0562-39-2663 メール chita-koken@ma.medias.ne.jp

■生笑一座 特別公演

生笑一座(いきわらいちざ)は、北九州でホームレス状態にある人たちと共に活動する認定NPO法人抱樸(ほうぼく)の理事長奥田知志さんと仲間たちによって旗揚げされました。厳しい野宿の生活を経験してきたからこそ言える「生きてさえいれば、笑える日が来る」「『助けて』と言えば新しい出会いがきつとある」このメッセージを、力強く、かつ楽しく朗らかに伝え、会場の皆さんと一緒に語り合う舞台をお届けします。

〈日時〉12月7日(土) 10:30～12:30 (10:00 開場)
〈会場〉東海市しあわせ村(健康ふれあい交流館) 多目的ホール
〈参加費〉無料 ※先着200名
〈共催〉日本福祉大学ニッセイ財団研究プロジェクト (N)知多地域成年後見センター
〈申込/問合せ〉(N)地域福祉サポートちた 市野
☎0562-33-1631 メール spchita@ams.odn.ne.jp

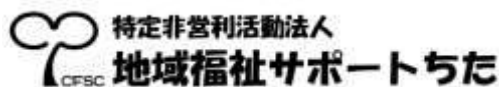
会員情報 ☆:.*.*.*☆..*°.*☆:.*.*°☆:.*.*☆..*☆.*☆

【正会員】団体・個人 56 【準会員】団体・個人 62

新会員 特定非営利活動法人リナスト様(準/団体)

(2019年9月末現在)

☆:.*°.*☆:.*.*.*☆..*°.*☆:.*.*°☆:.*.*☆..*☆.*.*.*☆..



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆地域福祉サポートちた
HP: cfsc.sunnyday.jp/
FB: facebook.com/sapochita/

◆手づくりカフェAda-coda
HP: cfsc.sunnyday.jp/01-adacoda/
FB: facebook.com/Adacoda.cafe/